

2022年度 授業評価全体のまとめ (5点満点)

質問項目	【助産学科】授業(講義)					【高度専門看護学科】授業(講義) 旧カリキュラム														【高度専門看護学科】授業(講義) 新カリキュラム										
	基礎助産学	助産診断技術学	地域母子保健	助産管理	全体の平均	基礎分野		専門基礎分野			専門分野 I		専門分野 II				統合分野		キャリア発達	全体の平均	ヘルスプロモーションの基礎となるもの		ヘルスプロモーションの5つの活動			全体の平均				
						科学的思考の基礎	人間と生活・社会の理解	人体の構造と機能	疾病の成り立ちと回復の促進	健康支援と社会保険制度	基礎看護学	看護共通	領域横断	老年	小児	母性	精神	在宅			看護の統合と実践	人を知る	ヘルスプロモーションの基礎	ヘルスプロモーションを支える技術	個人技術の開発		地域活動の強化	健康を支える環境づくり	ヘルスサービスの方向転換	キャリア支援
1 私は、講義内容の意義や重要性を理解し、事前に教科書を読む課題に取り組む等、学ぶ姿勢をもち参加した。	3.4	3.5	3.3	3.2	3.3	3.0	3.4	3.4	3.4	3.0	3.5	3.1	3.4	3.2	3.2	3.5	3.5	3.5	3.6	3.7	3.4	3.3	3.4	3.6	3.5	3.4	3.3	3.4	3.5	3.4
2 私は、授業のルールやマナーの必要性を理解し、学生自ら「参加しやすい授業づくり」を心がけた。	3.7	3.7	3.3	3.5	3.5	3.5	3.4	3.4	3.5	3.4	3.5	3.3	3.5	3.3	3.2	3.4	3.5	3.5	3.7	3.8	3.4	3.5	3.6	3.7	3.6	3.5	3.4	3.5	3.7	3.6
3 私は、この科目(授業)に主体的に参加し、自ら考えて能動的に学ぶことができた。	3.5	3.6	3.2	3.4	3.4	3.2	3.4	3.6	3.5	3.2	3.6	3.2	3.5	3.2	3.3	3.3	3.5	3.5	3.7	3.7	3.4	3.4	3.5	3.6	3.4	3.4	3.4	3.4	3.5	3.4
4 私は、この科目(授業)を通して、自分の興味や関心を広げることができた。	3.5	3.6	3.2	3.5	3.5	2.9	3.1	3.4	3.4	3.1	3.5	3.2	3.5	3.2	3.1	3.5	3.5	3.5	3.5	3.6	3.3	3.3	3.5	3.6	3.3	3.3	3.3	3.4	3.6	3.4
5 私は、この科目(授業)で既習の知識と相互に関連付けて深く理解できた。	3.5	3.6	3.2	3.4	3.4	3.1	3.1	3.5	3.3	3.0	3.5	3.2	3.4	3.2	3.2	3.4	3.5	3.4	3.5	3.6	3.3	3.3	3.5	3.6	3.4	3.3	3.3	3.5	3.6	3.4
学生の授業への参画や達成度の平均	3.5	3.6	3.2	3.4	3.4	3.1	3.3	3.5	3.4	3.1	3.5	3.2	3.5	3.2	3.2	3.4	3.5	3.5	3.6	3.7	3.4	3.4	3.5	3.6	3.4	3.4	3.3	3.4	3.6	3.5
6 シラバス・授業配布資料は、授業のテーマ・目標が示されており、具体的でイメージしやすく、学習を促進させるものであった。	3.4	3.6	3.2	3.5	3.4	3.0	3.0	3.1	3.4	3.1	3.4	3.1	3.4	3.3	3.2	3.3	3.5	3.6	3.5	3.6	3.3	3.3	3.4	3.6	3.4	3.4	3.3	3.5	3.7	3.5
7 授業内容は理解しやすいように体系的に整理されていた。	3.5	3.5	3.2	3.5	3.4	3.3	3.0	3.3	3.4	3.2	3.4	3.2	3.4	3.3	3.1	3.5	3.5	3.5	3.5	3.6	3.3	3.3	3.5	3.6	3.4	3.4	3.4	3.6	3.7	3.5
8 授業時間配分や量は内容から考えてちょうど良いものであった。	3.4	3.5	3.2	3.5	3.4	2.8	3.1	3.2	3.4	3.2	3.4	3.3	3.3	3.3	3.1	3.4	3.5	3.7	3.3	3.4	3.3	3.1	3.4	3.5	3.4	3.4	3.4	3.5	3.6	3.4
9 学習の理解を深めるための工夫した教材(教員の語り・配布資料・模型・スライド・実物投影機ホワイトボード・事例など)が用いられていた。	3.5	3.6	3.3	3.6	3.5	3.5	3.1	3.1	3.4	3.4	3.5	3.4	3.5	3.3	3.2	3.5	3.6	3.5	3.4	3.7	3.4	3.3	3.5	3.6	3.5	3.4	3.4	3.6	3.7	3.5
10 講師は、質問が考えたり、質問や意見を述べられるように工夫していた。	3.5	3.7	3.2	3.4	3.4	3.3	3.2	3.2	3.3	3.3	3.5	3.5	3.5	3.4	3.3	3.4	3.6	3.5	3.5	3.7	3.4	3.2	3.4	3.6	3.4	3.3	3.3	3.8	3.4	
11 講師は、対話を通して、学生の考えを広げ深め、表出する機会が設けられていた。	3.4	3.7	3.4	3.4	3.5	3.3	3.1	3.3	3.3	3.1	3.5	3.4	3.5	3.4	3.3	3.4	3.6	3.7	3.5	3.6	3.4	3.2	3.4	3.6	3.3	3.2	3.2	3.4	3.8	3.4
12 講師は、学生の反応に対し、丁寧に寄り添っていた。	3.6	3.6	3.4	3.6	3.6	3.4	3.2	3.1	3.4	3.3	3.5	3.5	3.6	3.4	3.2	3.4	3.5	3.6	3.5	3.7	3.4	3.3	3.5	3.7	3.5	3.3	3.4	3.5	3.8	3.5
学生による授業の評価の平均	3.5	3.6	3.3	3.5	3.5	3.2	3.1	3.2	3.4	3.2	3.5	3.3	3.5	3.3	3.2	3.4	3.6	3.6	3.5	3.6	3.4	3.3	3.4	3.6	3.4	3.3	3.4	3.5	3.7	3.4

臨地実習 評価(5点満点)	助産学科	高度専門看護学科
オリエンテーション	4.4	4.4
学習内容・方法	3.9	4.4
学生-患者関係	3.9	4.4
教員、看護師-学生相互行為	4.2	4.4
学生への期待・要求	4.2	4.3
教員、看護師間の指導調整	4.0	4.1
目標・課題の設定	4.0	4.2
実習記録の活用	4.2	4.3
カンファレンスと時間調整	4.2	4.4
学生-人的環境関係	4.2	4.4
全体の平均	4.1	4.3

2022年度 授業評価回収率(2022. 3.20現在)

	助産学科	高度専門看護学科			
平均(%)	53.6	5回生(1年)	4回生(2年)	3回生(3年)	2回生(4年)
		44.1	22.3	15.2	41.8

2022年度の学生による授業評価(講義・臨地実習)の結果は表に示す通りです。2021年度と比べて助産学科は「講義内容の意義や重要性を理解し、事前に教科書を読む課題に取り組む等、学ぶ姿勢をもち参加した」「シラバス・授業配布資料は学習を促進させるものである」「授業内容は理解しやすいように体系的に整理されていた」は3.3~3.4点で0.1~0.2点低下しました。高度専門看護学科の旧カリキュラムでは「自分の興味や関心を広げることができた」「既習の知識と相互に関連付けて深く理解できた」「授業資料やテーマは学習意欲を促進させる」等の項目は3.3~3.4点で0.1~0.2点低下しました。今後も学生の興味関心を高め、主体的な学習を支援できるように、学生の到達度を含め評価し、教育内容や教授法と学習経験についての改善に取り組んでいきます。また科目により差があり、特に平均値より低い分野・授業科目に関しては2023年度に向けて講師と連携・調整しています。臨地実習は、両学科とも4.1点・4.3点と高くなりました。

学生による授業評価はより良い授業への改善のために活用しています。2022年度の授業評価回収率は、46%から31% (高度専門看護学科)と低下しました。2022年2月に「学生による授業評価に関する調査」を専任教員に実施しました。専任教員全員が授業評価のデータを確認し、9割の教員がデータを活用し教育改善に取り組んでいました。具体的な取り組みは、「学生のデータをもとに今後の講義や次年度の講義の改善に活用している」「具体的な意見は参考にして」「学生が積極的に学べているか確認して、学生が主体的に学び、興味関心を広げられたかを授業課題としている。」「良い意見は継続し、改善を求めている意見には、授業案の修正をしている。学生の自由記載の意見は授業内容・時間配分・授業資料・授業資料の配信・グループワークテーマと進行などについてであった。」「自由記載の欄は自己の振り返りと合致している。自身の行動や発言など思い返して適切であったか等を振り返り手立てにしている」などの回答が得られました。残り1割の教員も「可能な限り改善に努めている」「次年度も同じ科目担当であれば活かしている」との回答でした。よりよい授業は講師と学生との相互作用で成立します。2023年度もより一層積極的に授業に参加してください。<2022年度 学校評価委員会まとめ>